２０２０年度　古典Ｂ　第７回スクーリング資料

俳諧　春夏秋冬

一、**誤字**に注意！　**諧**「階」としないこと。　**誤読**に注意！　発句（**ほっく**）

※切れ字※　「けり」…詠嘆を表します。慣用句に「決着をつける」「結末を迎える」意味の「けりをつける」という言葉がありますが、俳句や短歌に詠嘆の助動詞「けり」をつけて締めくくるところからできたと言われています。

貞門俳諧…松永貞徳
談林俳諧…西山宗因
蕉風俳諧…松尾芭蕉
中興俳諧…与謝蕪村
文化文政期の俳諧…小林一茶

〈参考〉月並俳句…正岡子規の批判は、江戸末期の俳諧が、俗受けをねらって模倣と言回しの工夫に終始し、類型に陥っていたからとされる。

焦門十哲

宝井其角（たからい きかく）蕉門第一の高弟。
服部嵐雪（はっとり らんせつ）其角とならんで蕉門の双璧をなす。
内藤丈草（ないとう じょうそう）
向井去来（むかい きょらい）別荘「落柿舎」を所有。
森川許六（もりかわ きょりく）画の名人で芭蕉に画を教える。
杉山杉風（すぎやま さんぷう）芭蕉の経済的支援者。
各務支考（かがみ しこう）
立花北枝（たちばな ほくし）「奥の細道」道中の芭蕉と出会い入門。
越智越人（おち えつじん）「更科紀行」の旅に同行。
志太野坡（しだ やば）芭蕉の遺書を代筆。

二、「雪月花」の句　卯木…卯月（旧暦四月…夏の初め）
「浮き世」の句　井原西鶴『好色一代男』、『世間胸算用』
「奈良七重」の句　全て漢字という特徴があります。読めるようになっておきましょう。「ならしちへしちだうがらんやへざくら）
「月や霰」の句　上田秋成『雨月物語』

◎レポートに出てくる全ての句について、（1）俳人名（人名は**読み書きとも**にできること）、（2）季語、（3）季節を覚えておきましょう！

短歌も俳句も
5と7という素数の組み合わせ。
5＋7＋5（俳句）＝17も素数
5＋7＋5＋7＋7（短歌）＝31も素数

素数が何故、日本人の耳に心地よいのか、
不思議ですね。数学の先生にも尋ねてみてください。